

あゆむ

平成27年度施設見学会

認知症の人とあゆむ会施設見学会が9月16日(水)に、正会員10名 事務局4名が参加し、市内平田町デイサービスセンター善と市内鶴住居町地域密着型介護老人福祉施設三峯の杜で開催されました。

デイサービスセンター善に到着したのは、お昼前で、ご利用者様は職員と共に昼食準備に取りかかっています。またこの日は、午後から誕生会をする予定があり、慣れた手つきでデコレーションケーキも作っていました。前川代表からは、「利用者と職員と一緒に取り組むことで、全員が役割を持ちながら過ごせる環境作りを行っている。誰もが先生であり誰もが生徒、今までの経験や能力を活かし、利用者も職員もお互いがケアし合える時間を築いて過ごして頂いている。」とお話を頂きました。個々の興味や得意なことなどを見極めながら、デイサービスの中で積極的に活動してい

る様子を紹介して頂きました。

その後、大槌ショッピングセンターマストにて昼食休憩をはさみ、午後は地域密着型介護老人福祉施設三峯の杜を見学しました。斎藤理事長より、施設の概要や取り組んでいるケア内容について説明を受けました。その後、施設内を案内して頂き、浴室や各ユニットのフロアー、廊下等の工夫された場所や、自宅に近い雰囲気コーディネートされた居室等を見学しました。開所1年の新しい施設であり、スタッフも新人の方が多いとの事なので、ご利用者様個々の対応の仕方など、ケアの内容について勉強会等で深めながら、親身に入所者の方々と関わっている様子が伺えました。また、地域の方との交流や、季節の行事を大事にしている施設である様子も紹介して頂きました。見学した二つの施設のケアに対する理念を聞くことができ、非常に勉強になった見学会となりました。

ミニ講座

実行機能障害について

実行機能障害とは？

目的を果たすためにいくつかの作業を順序立てて行う能力が低下し、行動の途中でつぎは何をすればいいのかわからなくなり、行動するための段取りが取れず、実行出来なくなるのが実行機能障害です。

実行機能障害の具体例

分かり易い例として、料理が挙げられます。長年慣れ親しんだ料理でも、献立を決め、食材を準備し、調理方法を選び、調味料を入れ、食器に盛るといった多くの過程を自然にこなしていますが、実行機能障害があると、状況を理解し、内容を整理、分析して計画を立て、実行することが難しくなり、結果、表面的、場当たり的な行動になり、自分から何もなくなることもあります。味付けがおかしい、茶碗洗いが不十分料理をしなくなった等は、実行機能障害が影響しているものと考えられます。

実行機能障害の対応

実行機能障害の失敗を少なくする工夫として、単純な目標を決める、複雑な状況は避ける、一度に複数のことを行わないことが有効です。認知症の人はなににもできないわけではなく、近くでサポートする人がいて、目を配ってあげれば、一つの作業を終わらせることはできます。手助けをしてくれる人がいれば、その先は自分でできるということがたくさんあるのです。

★シリーズ★ 認知症最新ニュース

認知症高齢者の方が徘徊により行方不明になる事故が増えている中、群馬県高崎市では認知症高齢者の保護を確実に実施するため、GPS 無料貸与のサービスをスタートしました。「はいかい高齢者救援システム」と名づけられたこのサービスは、バッジ型やリストバンド型のGPSシステムを対象者が身につけることによって、徘徊時に対象者の正確な位置を把握することができ、また、家族からの要請があった場合には、見守りセンターの職員や警察による捜索・保護を迅速に行なう事となっています。



活動予定

- ☆ つどい定例会 (対象：正会員・準会員)
 - ・10月21日(水) 13:30~15:00
 - ※ 会場：小佐野コミュニティセンター3階
- ☆ あゆむカフェ (対象：正会員のみ)
 - ・11月18日(水) 13:30~15:00
 - ※ 会場：小佐野コミュニティセンター1階
- ☆ 研修会 (対象：会員・一般)
 - ・12月開催予定
 - ※ 詳細は後日文書にてお知らせします。